

宮城県感染症発生動向調査情報

- 2018.8.27～2018.9.2 - 第35週 -

平成30年9月6日発行

1. 集計

上段は患者発生数、下段は定点当り

疾 病	保 健 所							仙 台 市 患者数	宮 城 県 (含 む 仙 台 市)					
	仙南	塩釜	大崎	栗原	登米	石巻	気仙沼		患者数	累計	第32週	第33週	第34週	第35週
水痘	2 0.40	1 0.10	2 0.40		1 0.33	1 0.20	1 0.50	4 0.15	12 0.20	821				
流行性耳下腺炎	1 0.20	1 0.10						2 0.07	4 0.07	155				
感染性胃腸炎	22 4.40	27 2.70	7 1.40	20 10.00	7 2.33	16 3.20		101 3.74	200 3.39	9,682	◎	◎	◎	◎
手足口病	27 5.40	3 0.30	15 3.00	2 1.00	9 3.00	2 0.40	1 0.50	62 2.30	121 2.05	1,287	◎	◎	◎	◎
伝染性紅斑		1 0.10				1 0.20	3 1.50	38 1.41	43 0.73	506	○	レ	○	○
突発性発しん	2 0.40	5 0.50	2 0.40		2 0.67	2 0.40	1 0.50	15 0.56	29 0.49	1,038	レ	レ	○	○
ヘルパンギーナ	14 2.80	78 7.80	22 4.40	32 16.00	8 2.67	12 2.40	7 3.50	91 3.37	264 4.47	2,293	◎	◎	◎	◎
インフルエンザ									0 0.00	34,010				
咽頭結膜熱		6 0.60					4 0.80	12 0.44	22 0.37	820	○	レ		
流行性角結膜炎		1 0.33	2 2.00				1 1.00	3 0.50	7 0.58	122				
急性出血性結膜炎									0 0.00	0				
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	14 2.80	12 1.20	1 0.20	4 2.00	2 0.67	10 2.00	3 1.50	27 1.00	73 1.24	5,825	◎	○	○	◎
細菌性髄膜炎(真菌性を含む)									0 0.00	4				
無菌性髄膜炎									0 0.00	1				
マイコプラズマ肺炎				1 1.00		1 1.00	1 1.00		3 0.25	114				
クラミジア肺炎(オウム病は除く)									0 0.00	1				
RSウイルス感染症	38 7.60	27 2.70	5 1.00	4 2.00	1 0.33	3 0.60	2 1.00	57 2.11	137 2.32	1,601	◎	◎	◎	◎
感染性胃腸炎(ロタウイルス)									0 0.00	30				
拡 張 疾 病	マイコプラズマ肺炎(小児科)	1	1	1	1				4					
	川崎病								1					
	不明発しん症		1						11					

◎: 流行の変化について、今後の情報に十分注意
○: 発生または流行について、今後の情報に留意
レ: 発生が少なくなっている傾向

※今週のインフルエンザによる入院患者報告(仙台市を含む基幹定点報告)はありません。

2. 全数報告疾病

1類感染症: 報告なし

2類感染症: 結核(患者(確定例))

登米管内 男性1名(第33週)
 仙台管内 男性2名
 結核(無症状病原体保有者)
 塩釜管内 男性4名
 仙台管内 男性3名、女性1名

3類感染症: 腸管出血性大腸菌感染症(O157)

石巻管内 男性1名、女性1名
 塩釜管内 男性2名、女性1名
 男性1名(第34週)
 大崎管内 女性1名
 仙台管内 女性1名
 腸管出血性大腸菌感染症(O26)
 仙台管内 女性1名
 腸管出血性大腸菌感染症(O28ac)
 大崎管内 女性1名(第34週)
 腸管出血性大腸菌感染症(O103)
 仙南管内 女性1名
 腸管出血性大腸菌感染症(O111)
 大崎管内 男性1名、女性1名、女児1名*
 登米管内 男性1名、女性2名
 腸管出血性大腸菌感染症(O不明)
 大崎管内 女性1名

4類感染症: レジオネラ症

石巻管内 男性1名
 仙台管内 男性1名

5類感染症: 侵襲性肺炎球菌感染症

石巻管内 男性1名

※女児は6歳未満

3. 宮城県感染症対策委員会情報解析部会

【定点把握対象疾患】

[手足口病]
 仙南管内で警報レベルを超えました。
 [伝染性紅斑]
 気仙沼管内で警報レベルを継続中です。
 [ヘルパンギーナ]
 塩釜管内で警報レベルを継続中です。
 大崎管内で警報レベルを継続中です。
 栗原管内で警報レベルを継続中です。
 登米管内で警報レベルを継続中です。
 仙台管内で警報レベルを継続中です。

【病原体検出情報】

～宮城県保健環境センター～

腸管出血性大腸菌感染症患者より
 石巻管内のO157関連 第35週採取分 O157 1件
 大崎管内のO111関連 第35週採取分 O111 4件

～仙台医療センターウイルスセンター～

	確 定	中 間 報 告	
	第32週採取分 (8.6～8.12)	第33週採取分 (8.13～8.19)	第34週採取分 (8.20～8.26)
RSウイルス	6件	3件	1件
ヒメタヌーモウイルス	2件	1件	0件
エンテロウイルス	1件	0件	0件
サイトメガロウイルス	1件	0件	1件
パラインフルエンザウイルス1型	1件	0件	0件
パラインフルエンザウイルス3型	1件	0件	0件

4. 今週のコメント

【腸管出血性大腸菌感染症】

ペロ毒素を産生する大腸菌による感染症で、O157、O26などの血清型が代表的です。主な症状は腹痛、下痢ですが、重症化すると溶血性尿毒症候群(HUS)を引き起こし死亡する例もあります。県内では今週18例の患者報告があり、引き続き患者が多い状況にあります。加熱不足の食肉の他、洗浄が不十分な野菜等の摂取を原因とすることもあります。食品の取り扱いに注意するとともに、手洗い励行などの予防対策に努めてください。

※腸管出血性大腸菌Q&A http://www1.mhlv.go.jp/o-157/o157q_a/

宮城県保健環境センター(宮城県結核・感染症情報センター)
 電話 022-257-7228 FAX 022-256-3362
 HPアドレス: <http://www.pref.miyagi.jp/soshiki/hokans//kansen-center.html>

宮城県定点週報告対象疾病の推移

